

WEL・NET

通信

2016.11

発行日 平成28年 11月10日
発行 西広島リハビリテーション病院
事務局
☎ 082-921-3230 (代表)
URL <http://www.welnet.jp>
E-mail wel@welnet.jp

- 特集1 第29回研究大会 in 広島のご紹介
- 特集2 西リハ開業 30周年記念企画
- 地域リハビリ研修会・朋和会トピックス

特集 1

一般社団法人 回復期リハビリテーション病棟協会

第29回 研究大会 in 広島のご紹介

裏表紙にも
掲載!



2会場での開催です。左上：広島国際会議場 右上：広島市文化交流会館 左下：広島国際会議場の
ある平和記念公園 右下：広島国際会議場のフェニックスホール

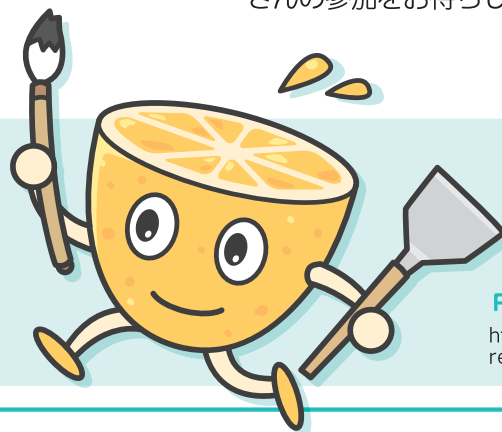
2017年2月、回復期リハビリテーション病棟協会の研究大会が、初めて広島で開催されます。**第29回研究大会 in 広島**として、当院が大会事務局を務めます。

メインテーマは、**レベルアップ!**
スピードアップ! フォローアップ!です。
 レベルアップ ➡ リハビリ医療の質向上
 スピードアップ ➡ 患者改善や連携の効率向上
 フォローアップ ➡ 地域生活継続への貢献

このテーマに沿って、今後の回復期リハビリ医療・回復期リハビリ病棟のあり方を考える、有意義な大会にしたいと考えています。回復期リハビリテーションに関わる多くの皆さんの参加をお待ちしています!

大会キャラクター **リハモン** です!

リハモンは、広島大会の公式キャラクターです。原案は当院の佐藤新介医師が作成しました。広島レモンをモチーフに、熊野筆とお好み焼きのヘラを持っています。大会のご案内から広島の紹介まで、どんどん情報発信していきますので、よろしくお願いします!



@rehamon
Facebook もあります!
<https://www.facebook.com/rehamon/>

一般社団法人 回復期リハビリテーション病棟協会 第29回 研究大会 in 広島

会期 2017年2月10日(金) -11日(土)

大会事務局 医療法人社団朋和会 西広島リハビリテーション病院

会場 広島国際会議場 (広島市中区中島町1-5 平和記念公園内)
広島市文化交流会館 (広島市中区加古町3-3)

運営事務局 株式会社 近畿日本ツーリスト 中国四国広島支店
〒730-0032 広島市中区立町1-24 有信ビル7F
TEL: 082-502-0909 FAX: 082-221-7039
E-Mail: 29kaifukuki@or.kntcs.co.jp

大会長 岡本隆嗣 医療法人社団朋和会 西広島リハビリテーション病院

詳しい情報は、大会特設サイトをチェック!
参加登録もこちらで受け付けています。

<http://kaifukuki2017hiroshima.org>

研究大会 広島

検索

QRコード





開業当時

特集 2

医療法人社団 朋和会

開業30周年！

西広島リハビリテーション病院は、昭和61年11月4日の開業以来、おかげさまで30周年を迎えることになりました。これもひとえに皆様のご支援と御協力によるものと感謝しております。ここでは、当院の30年の歩みをご紹介します。

◀ 開業当時の当院の姿。まだ西館やリハビリ館はありませんでした。

今後もよろしく
お願い致します！

朋和会と西広島リハビリテーション病院は、「信じ合い、明日を拓く」の理念に基づき、確かな信頼関係のもとに質の高いリハビリテーション医療を提供するとともに、フロンティア・スピリッツを胸に、常に新しいことへ挑戦してきました。今後も地域の医療福祉環境は大きく変化していくと思われませんが、連携機関の皆様と協力し合いながら、地域のリハビリテーション推進に取り組んでまいります。今後ともよろしくお願い致します。

現在の西リハ



<p>1986</p> <p>西広島リハビリテーション病院 オープン</p> <p>脳外科・整形外科手術後の家庭復帰リハビリのための施設として開業しました。当初は本館のみで50床からスタートし、翌年100床へ増床しています。</p>	<p>1991 1992 1993</p> <p>健康開発センター ウィル オープン 西館完成 老人保健施設 花の丘 オープン</p> <p>リハビリテーション 総合承認施設となる 病院・老健・健診センターが揃いました。1993年にはリハビリテーション施設資格を取得し、総合承認施設として承認されました。</p>	<p>1999</p> <p>機能評価 Ver.3 取得</p> <p>居宅介護センターともオープン</p> <p>この頃に一般病床から療養型病床への変更があり、病床数は現在と同じ139床となります。また、はじめて病院機能評価の審査を受け、長期療養型で認定をいただきました。</p>	<p>2000~2003</p> <p>機能評価 Ver.4 取得</p> <p>リハビリ館増設 本1階病棟を回復期リハ病棟へ 本2階病棟を回復期リハ病棟へ 西2階病棟を回復期リハ病棟へ</p> <p>2000年に制度が開始されたことに伴い、3病棟を順次回復期リハビリテーション病棟へ変更。リハビリテーション専門病院として特化していきます。</p>	<p>2007 2009</p> <p>機能評価 Ver.5 取得</p> <p>地域連携部を発足させ、回復期から生活期への情報の共有を図ります。これまでの訪問看護を訪問リハビリへ組織変更し、在宅でのリハビリ提供を再スタートさせました。</p>	<p>2010</p> <p>365日リハビリ提供開始 磁気刺激治療開始 Honda 歩行アシストの共同研究開始</p>	<p>2011</p> <p>神経学的音楽療法開始 リハビリ単位調整の新システム導入</p>	<p>2010</p> <p>付加機能 リハビリ機能取得</p> <p>365日リハビリ開始とともに先進的なツールを積極的に導入し、さらなる回復期リハビリ医療の質の向上を図りました。</p>	<p>2012 2014 2015</p> <p>機能評価 Ver.1 付加機能 Ver.3 取得</p> <p>回復期リハビリテーション病棟1として承認 3病棟 139床が 電子カルテ導入 近赤外光イメージング装置 SMART NIRS 導入 広島県回復期リハビリテーションの会設立</p> <p>2012年の医療保険改正を受け、3病棟139床が回復期リハビリテーション病棟(1)として承認されました。新体系となった病院機能評価もいち早く受審し、認定をいただきました。</p>
病院創立	リハビリ基礎確率	リハビリ専門病院へ特化	在宅支援リハビリ拡大	リハビリの質向上・在宅支援リハビリ拡大へ				

30周年記念企画 第1弾 30周年記念の本 ができました！

西リハの30周年を記念して、当院スタッフの共著によるリハビリの本を作成しました！発症から自宅復帰までの流れ、新しい治療法、家へ帰ってからのようなことに気を付ければ良いか、知っておくと良いことなど、生活の役に立つリハビリのお話が満載です。イラストや図をたくさん使い、読み易く分かりやすい本になったと思います。回復期とその後の地域でのリハビリの手引書として、多くの方に活用いただければ幸いです。



知って役立つリハビリのお話
2016年10月24日発行
(有限会社 南々社) ¥1,200 (税別)

amazon等でお求めいただけるほか、当院売店でも販売しております。



30周年記念企画 第2弾 ホームページを リニューアル しました！

30周年記念企画第2弾として、ホームページのリニューアルを行いました。写真をたくさん使用しており、病院の活気が伝わるような明るいホームページです。スマホやタブレットにも対応し、より見やすく使いやすくなりました。また、採用情報のサイトに新しくコンテンツを増やしています。是非ご覧になってください。





当院は **地域リハビリテーション広域支援センター** です！

当院は、地域におけるリハビリテーション支援体制を推進するための施設として、広島県から指定を受けています。地域リハビリ活動の一環として、地域リハビリ研修会を2～3カ月に1度開催している他、出前リハビリ講座の実施、区民まつりへの参加、広報誌やホームページ、退院患者統計での情報発信などを行っています。

全4回
シリーズ

食べるよろこびは 生きるよろこび！

～健康長寿のための嚥下・口腔ケア～

平成 28 年度の地域リハビリ研修会は、「食べるよろこびは生きるよろこび！」と題して、嚥下・口腔ケアをテーマに全 4 回シリーズの研修会を行いました。

口から食べることは、栄養をとり体をつくるというだけでなく、生きる喜びや楽しみにも通じる、人間にとって大切な営みです。病気になっても高齢になってもできるだけ口からしっかり食べて生き生きと暮らしていけるように、当院の専門スタッフがそれぞれの専門分野から、さまざまな工夫とアドバイスをお伝えしました。



1 嚥下障害と肺炎

安全に食べるために、まず知っておきたいこと



まずは第 1 弾として、「嚥下障害」と「誤嚥性肺炎」について基礎知識の解説を行いました。「嚥下障害」とは、食べたり飲み込んだりすることがうまくできなくなる障害です。のどの構造と飲み込みの流れ、障害が起こった場合になくなるのかを、イラストや映像で見させていただきました。また、嚥下障害になっても安全に食べるためにはどうすれば良いか、誤嚥性肺炎を予防するためにはどんなことに気を付ければ良いかについて、総論的なお話をしました。具体的な方法について、詳しくは2～4回で見ていくことになります。

まずは第 1 弾として、「嚥下障害」と「誤嚥性肺炎」について基礎知識の解説を行いました。「嚥下障害」とは、食べたり飲み込んだりすることがうまくできなくなる障害です。のどの構造と飲み込みの

2016.8.10 (水) 18:30～20:00

講師： 木下 翔司 (医師)

受講者数： 47 名

参加者の声

- 実際の映像（嚥下造影検査の映像）を見ながら説明があり、分かりやすい。（一般参加者）
- 口腔ケアの重要性を再認識できた。（ケアマネジャー）
- 肺炎を起こさないために何ができるか。しっかり体を起こすことや、口腔ケアの大切さなどが理解できました。（看護職）
- 地域に開かれた講座。直接いろいろと質問できるので良いですね。（看護職）

嚥下障害に負けない！

安全においしく食べる工夫とリハビリ



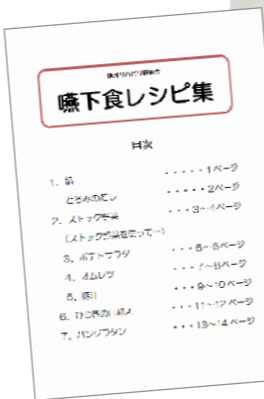
▲ 唇の筋力を鍛え呼吸機能や発声を改善する「吹き戻し」を体験していただきました。一番強いレベルのものを試していただいたためか、「意外に力がある」「結構しんどかった」などのご感想をいただきました。

第2弾は、嚥下障害になっても安全に食べるために何ができるか、というお話です。「姿勢」「食事形態」「介助方法」「リハビリ」という4つの項目に分けて、気を付けるべきポイントをご紹介しました。「リハビリ」の項目では、食事前に準備運動として行う「嚥下リハビリ体操」や、市販の訓練道具をご紹介し、実際に見て、体験できて良かった！との感想を多数いただきました。

かんたん嚥下食の秘密

～嚥下食レベル&レシピ～

試食や意見交換を
たっぷり行って
いただきました！▶



嚥下食レシピ集

項目	ページ
1. 第1弾	1～14ページ
2. 第2弾	15～28ページ
3. 第3弾	29～42ページ
4. 第4弾	43～56ページ
5. 第5弾	57～70ページ
6. 第6弾	71～84ページ
7. 第7弾	85～98ページ

参加者の皆さんにはレシピ集をプレゼントしました。

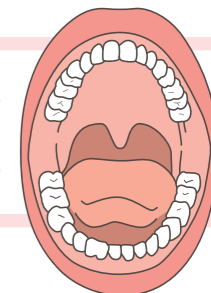
第3弾は、嚥下食のお話です。嚥下食とは、食べ物をやわらかくしたりトロミをつけたりして、嚥下障害がある人でも飲み込みやすくした食事のことです。嚥下機能の状態によって、適切な嚥下食のレベルは異なります。それをはかる目安として、専門機関が定めているトロミの分類や嚥下食のレベル、さらに当院が実際に運用している方法をご紹介しました。また、ご家庭でも簡単に作れる嚥下食のレシピや、食品をやわらかくするコツ、おすすめの器具などをご紹介しました。

第4回 口腔ケアと口腔リハビリ

2016.11.19 (土) 13:30～15:00

講師： 荏原 幸恵 (言語聴覚士・訪問リハ担当)

今回はシリーズ第4弾、口腔ケアと口腔リハビリのお話です。研修会の様子は、WELNET 通信次号にてご報告予定です。お楽しみに！



参加者の声

- 図書館で嚥下の専門書を借りて読んでよく分からなかった。今回の研修会は分かりやすくてためになった。体験があると理解が進みます。（ご家族）
- リハビリ体操を丁寧にやることで、「ゴックン」がしやすくなった。いろいろと実感できた。（ケアマネジャー）
- あごが上がったまま食べると誤嚥しやすいなど、どのようなときに誤嚥の危険があるのかを聞いて良かったです。（リハビリスタッフ）
- 反復唾液飲み検査は簡単にできるものなので祖母とやってみようと思いました。

2016.10.18 (火) 18:30～20:00

講師： 影山 典子 (管理栄養士・栄養課課長)

受講者数： 28 名

参加者の声

- 実際に試食などしながら、食形態の違いがよく理解できました。トロミの違いはとても参考になりました。（管理栄養士）
- 嚥下食を作る工夫（肉をやわらかくする、ストック野菜、器具の選択 etc）を学ぶことができて良かったです。（看護職）
- 「食べる人を想いながら食事を作る」ことが必要だとありましたが、介助する上でも相手を想いながら介助をしようと思いました。勉強になりました。（介護職）
- 市販の商品もあるということを知って良かった。病院から帰って、すべて一から食事を作るのだと思っていたので、気が重かった。（ご家族）
- ソフト粥は初めての体験でした。（一般参加者）



平成 28 年 4 月～平成 28 年 10 月のイベント・ニュースをまとめました。

イベント・ニュース

回復期リハビリテーション病棟協会 第27回 研究大会 in 沖縄



▲ 参加メンバーで記念撮影。当大会事務局のスタッフの方にも一緒にいただきました♪



▲ 懇親会では、カーブのユニフォームを着て広島大会のアピールを行いました！

2016/3/4～5

2016年沖縄大会は、「原点に立脚しつつ更なる進化を」をテーマとして、回復期リハビリに関連するさまざまな分野での研究発表が行われ、1,883名もの来場がありました。当院からも21名のスタッフが参加し、研究の成果を発表したり、2017年に広島で開催される大会のため、運営を視察させていただきました。

H28年度 新人研修・入社式

2016/3/22～

平成 28 年度新入職員の入社式が行われました。理念や接遇、リスク管理、他職種の業務など 2 週間の研修を行い、4月4日より各現場に配属となりました。



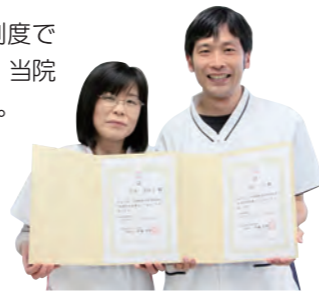
▲ 実技研修の様子

転倒予防指導士 資格を取得！

2016/3/24・4/1

日本転倒予防学会による認定制度である「転倒予防指導士」の資格を、当院のスタッフ 2 名が取得しました。

▲ 杉本真理子(写真左：看護介護部部長) 福江亮(同右：本館 2 階リハビリマネジャー・理学療法士・患者安全委員会委員)



退院患者統計 2015

2016/4/15

当院では、平成 7 年から年ごとの退院患者さんの各種統計をデータ化し、公表しています。2015 年版の退院患者統計一覧では、新たに FIM 実績指数なども公開しています。

最新の退院患者統計一覧は、ホームページからお申込みを受け付けております。



花の丘ドライブツアー

2016/5/9～21・27



▲ バラ満開の中、みんな笑顔で写真撮影♪

今年も花の丘の年間行事の一環として、利用者の皆さん・ご家族の皆さんと、広島市植物公園へドライブツアーに出かけました。

花の丘作品展

2016/6/18-19



▲ 大きな招き猫が玄関でお出迎え。

花の丘の年間行事、作品展が行われました。利用者さんが個人で作られた作品、クラブ活動の作品など力作がズラリと並び、盛況でした。

作業療法室リニューアル！

2016/7

作業療法室に新しくリビングのセットが加わりました。調理、食事、入浴の他、ソファに座ったりドアを開けたりといった動作の練習を行えます。



広島県 回復期リハビリテーションの会主催

回復期リハビリテーション病棟協会 会長講演 開催

2016/6/20



▲ 広島県医師会館のホールで開催されました。 園田 茂 先生 ▲

広島県回復期リハビリテーションの会は、2015年6月に発足しました。当院が事務局を務めさせていただいております。発足から1年の記念講演として、回復期リハビリテーション病棟協会会長 園田 茂先生をお招きし、「回復期リハビリテーション病棟の目指すべき方向性」について講演していただきました。会員病院等から281名の参加があり、当院のスタッフも多数聴講しました。

グラクソ・スミスクライン株式会社主催

広島市民公開講座 in 中国新聞ホール

2016/7/3

広島市民公開講座「退院後もあきらめない脳卒中の後遺症治療」にて、当院の岡本隆嗣(病院長)が講演 2 の講師を、岡本隆嗣院長と松田秀之(理学療法士主任)がディスカッションのパネラーを務めました。



▲ 講演 2 では、脳卒中発症後の手足の筋肉のつばりについて、最新の治療とリハビリのお話をしました。

セタコンサート

2016/7/7

音楽療法の一環として、患者さんと音楽療法士による院内コンサートを開催しています。今回はセタコンサートとして作業療法室で開催し、患者さん・ご家族など多くの方が聞きに來られ、大盛況となりました。



▲ たくさんの方が音楽を楽しまれました。

第9回 広島脳卒中地域連携の会

2016/9/7



▲ 脳卒中に関する医療・介護関係機関の地域連携を強めるための会です。

今回は広島市民病院で行われ、134名もの参加者が集まりました。ケアプラン作成に必要な情報について多職種でグループワークを行い、意見交換を行いました。

観西シルバーネット主催 健康あんしん講座

2016/9/15

シルバーネット主催で健康づくり・介護予防の講座が開かれ、当院の職員が講師として参加しました。言語聴覚士の今橋が嚥下について講義しました。



▲ 健康に関心をお持ちの地域の皆様に多数ご参加いただきました。

回復期・生活期 合同症例検討会

2016/5/19 (第22回)・7/14 (第23回)・9/29 (第24回)

当院では 2012 年より、回復期と生活期のスタッフによる合同症例検討会を、2 ヶ月に 1 回のペースで開催しています。回復期病棟を退院された患者さんが、その後自宅での生活の中でどのような困りごとに遭遇されているのか。入院中にもっとサポートできることはなかったか。スタッフ間でどのような情報のやりとりが必要か。毎回テーマを決めて症例発表を行い、白熱した情報交換や意見交換を行っています。時には連携病院・施設のスタッフさんや福祉用具の業者さんなど、地域の医療・介護を担うさまざまな方をゲストにお招きして、それぞれの視点からのご意見をいただくこともあります。9 月で 24 回目を数えた症例検討会ですが、より良い生活期につなげるための回復期リハビリ充実を目標に、今後も継続していきたいと思っております。



▲ さまざまな職種のスタッフが意見交換を行います。外部の方のお話も、とても参考になっています。

第29回

研究大会 in 広島



大会テーマ レベルアップ! スピードアップ! フォローアップ!

2017年 2月 10日 金・11日 土

広島国際会議場
広島市文化交流会館

大会長

岡本 隆嗣

医療法人社団 朋和会
西広島リハビリテーション病院 院長

大会事務局

医療法人社団 朋和会
西広島リハビリテーション病院

運営事務局

株式会社
近畿日本ツーリスト
中国四国広島支店

E-Mail : 29kaifukuki@or.kntcs.co.jp

大会 HP

<http://kaifukuki2017hiroshima.org>

講演内容のご紹介 (予定)

【基調講演】

回復期リハビリテーションの

レベルアップ! スピードアップ! フォローアップ!



社会医療法人大連会 森之宮病院
副理事長 院長代理

宮井 一郎



藤田保健衛生大学
七葉記念病院 病院長

園田 茂



医療法人社団輝生会
理事長

石川 誠

【ランチョン&特別企画】

回復期に活かす!! 脳卒中リハビリテーション



和歌山県立医科大学
リハビリテーション科 教授

田島 文博



東京慈恵会医科大学
リハビリテーション医学講座
主任教授

安保 雅博

【特別企画】

『熊本大地震』その時、病院はどうしたか?

山鹿温泉リハビリテーション病院・熊本機能病院・熊本リハビリテーション病院

【シンポジウム】

どうなる? 2018

診療報酬・介護報酬改定~回復期~

厚生労働省 保険局 医療課長 迫井 正深

厚生労働省 老健局 老人保健課長 鈴木 健彦

藤田保健衛生大学 七葉記念病院 病院長 園田 茂

芳珠記念病院 理事長 仲井 培雄



仲井 培雄

【ミニレクチャー】 ICF 等

【教育講演】

- 教育講演 I 東京慈恵会医科大学附属第三病院 教授 渡邊 修
- 教育講演 II 川崎医科大学 リハビリテーション医学教室 教授 花山 耕三
- 教育講演 III 桔梗ヶ原病院 副院長 高次脳機能リハビリテーションセンター長 原 寛美
- 教育講演 IV 東京慈恵会医科大学葛飾医療センター リハビリテーション科 教授 診療部長 小林 一成
- 教育講演 V 浜松市リハビリテーション病院 病院長 藤島 一郎
- 教育講演 VI 慶應義塾大学医学部 リハビリテーション医学教室 助教 大高 洋平
- 教育講演 VII 日本赤十字広島看護大学 特任教授 迫田 綾子
- 教育講演 VIII 千里リハビリテーション病院 副院長 吉尾 雅春
- 教育講演 IX 九州栄養福祉大学 リハビリテーション学部作業療法科 教授 淵 雅子
- 教育講演 X 愛仁会リハビリテーション病院 診療部長 住田 幹男
- 教育講演 XI 化学療法研究所附属病院 リハビリテーション科 部長 武原 格
- 教育講演 XII 三軒茶屋リハビリテーションクリニック 院長 長谷川 幹
- 教育講演 XIII 国際医療福祉大学三田病院 リハビリテーション科 教授 角田 亘



渡邊 修



花山 耕三



原 寛美



小林 一成



藤島 一郎



大高 洋平



迫田 綾子



吉尾 雅春



淵 雅子



住田 幹男



武原 格



長谷川 幹



角田 亘

★ 2016年10月時点の情報です。変更になる場合がありますのでご了承ください。

★ この他にもランチョンセミナーや認知症に関する教育講演など、多数の企画を予定しておりますので、ご期待ください!